



Booklet Maker

© 2014 Electronics For Imaging. 本書に記載されている情報は、本製品の『法律上の注意』の対象となります。

2014年10月29日

目次

Booklet Maker	5
Booklet Maker の面付け	5
Booklet Maker と Fiery Impose について	5
アクセス Booklet Maker	5
プリンタードライバーから Booklet Maker にアクセスする	6
Command WorkStation から Booklet Maker にアクセスする	6
ブックレットを作成する	6
「Booklet Maker」ウィンドウからブックレットを作成する	6
Booklet Maker ウィザードを使用してブックレットを作成する	7
製本タイプ	8
中とじ	9
複合中とじ	10
無線とじ	11
1-up 無線とじ	12
用紙サイズ	13
書類サイズと同じ	13
選択した用紙サイズに合わせて書類ページを縮小する	14
「用紙に合わせて縮小」オプション	15
ページを調整する	17
ページを調整する	17
ページ調整ととじしろ	20
クリープ補正	22
1-up 無線とじでの用紙種類の混合	22
Mixed Media 設定を指定する Booklet Maker	23
Mixed Media でジョブのナビゲーションを行う	24
ジョブのレイアウトをページとして表示する	24
ジョブのレイアウトをシートとして表示する	25
Booklet Maker Mixed Media の制限事項	25
表紙を追加する	26
アプリケーション内で書類サイズを変更する	27
測定単位を変更する	27
ブックレットをプレビューする	27
製本ワークフロー例	28
無線とじのブックレットを印刷する	28

中とじのブックレットを印刷する	28
複合中とじのブックレットを印刷する	29
Booklet Maker 制限事項	29
Booklet Maker 用語集	29
索引	35

Booklet Maker

Booklet Maker の面付け

Booklet Maker は、より高度な面付け用のプログラムを使用することなく、複数ページの印刷ジョブをブックレットとして印刷できる面付け機能です。

面付けは、1枚のシートに複数のページを割り付けて印刷する処理です。面付けされたシートを折り合わせると、ページが実際に読み進められる順序に並びます。

Booklet Maker は、2-up 面付けを行うようにデザインされています。この方式では、書類の4つのページが両面印刷用の1枚のシートに割り付けられ、書類の2つのページが1枚のシートのおもてと裏にそれぞれ印刷されます。ほとんどのアプリケーションで製本用の面付け設定を行うことができます。

ページが面付けされる順序は、選択したとじ方法によって決まります。

Booklet Maker には、プリンタードライバー、または Command WorkStation のジョブのプロパティからアクセスできます。Booklet Maker は、次の2つの方法で操作できます。

- Booklet Maker を使用—初めて使用する方や初級ユーザーにお勧めの方法です。
- Booklet Maker のメインウィンドウで設定項目を指定—経験のある方や上級ユーザーにお勧めの方法です。

ここでは、2-up 面付けのレイアウトについて説明します。複写機/プリンターに無線とじフィニッシャーなど製本用フィニッシャーを備えている場合、追加のオプションについては取扱説明書の『『印刷ガイド』』を参照してください。

Booklet Maker と Fiery Impose について

Booklet Maker 設定は Fiery Impose によってサポートされています。Booklet Maker 設定を行ったジョブを Fiery Impose で開き、面付けレイアウトを確認できます。また、必要に応じて面付けレイアウトの変更もできます。

Fiery Impose はすべての Booklet Maker 設定を Fiery Impose コマンドに変換およびマップします。Booklet Maker 設定のあるジョブが Fiery Impose で編集された場合、Booklet Maker でジョブを編集できなくなります。Fiery Impose は、Booklet Maker より多くの機能を備えており、それらの機能は Booklet Maker のコマンドで変換できません。

メモ: Fiery Impose の全機能を使用するには、アプリケーションの有効ライセンスが必要です。デモモードで Fiery Impose を使用した場合は、ウォーターマーク付きのジョブが保存されます。

Fiery Impose についての詳細は、Fiery Impose ヘルプを参照してください。

アクセス Booklet Maker

Booklet Maker には、プリンタードライバー、または Command WorkStation のジョブのプロパティからアクセスできます。

プリンタードライバーから Booklet Maker にアクセスする

Fiery サーバープリンタードライバーの「レイアウト」タブから Booklet Maker にアクセスできます。

- 1 アプリケーションで、「ファイル」 > 「印刷」を選択し、プリンター一覧から Fiery サーバーを選択します。
 - Windows の場合は、「プロパティ」をクリックします。
 - Mac OS の場合は、「Fiery の機能」をドロップダウンリストから選択します。
- 2 次のいずれかの操作を行います。
 - Windows をお使いの場合は、「Fiery プrint」タブを選択します。
 - Mac OS をお使いの場合は、「クイックアクセス」画面で「全プロパティ」をクリックします。
- 3 「レイアウト」タブをクリックし、「製本」オプションを選択します。

Command WorkStation から Booklet Maker にアクセスする

Command WorkStation の「ジョブのプロパティ」ウィンドウから Booklet Maker にアクセスできます。

- 1 「ジョブセンター」の「待機」ジョブ一覧のジョブをダブルクリックするか、ジョブを右クリック (Windows) または「Ctrl」キーを押しながらクリック (Mac OS) し、「アクション」メニューから「プロパティ」を選択します。
- 2 「ジョブのプロパティ」ウィンドウで「レイアウト」タブを選択します。
- 3 「製本」オプションを選択します。

ブックレットを作成する

プリンタードライバーまたは (Command WorkStation の) ジョブのプロパティの「レイアウト」タブで「製本」オプションを選択すると、ブックレットの作成に適用できるすべてのコントロールが Booklet Maker によって動的に表示されます。Booklet Maker のメインウィンドウ、または Booklet Maker ウィザード (各手順のイメージが表示されます) を使用して処理を完了できます。

「Booklet Maker」ウィンドウからブックレットを作成する

ウィザードを使用したくない場合は、「Booklet Maker」ウィンドウでオプションを選択することでブックレットを作成できます。

1 「ジョブのプロパティ」ウィンドウで「レイアウト」タブを選択します。

2 「製本タイプ」（中とじ、複合中とじ、または無線とじ）を選択します。

メモ：複写機/プリンターがパーフェクトバインダーのような高機能なフィニッシャーを備えている場合は、1-up 無線とじ製本のオプションが使用できることがあります。

3 とじ方法（「左」、「上」、または「右」）を選択します。

4 用紙サイズを指定します。

- Paper Catalog から選択します（Fiery サーバーで Paper Catalog がサポートされている場合）。
- カスタム用紙サイズを作成します。
- 書類サイズと同じサイズを選択します。
- 選択した用紙サイズに合わせて書類ページを縮小します。

5 「ページ調整」を選択して、オリジナルの書類の縦横比を維持しながら書類のサイズを縮小します。

6 必要に応じて、クリープ補正を指定します（中とじ/複合中とじで使用できます）。クリープを補正するには、用紙の種類に合わせて次の設定を選択します。

- 普通—ブックレットのページ数が多い場合はこのオプションを選択します。
- 厚紙—厚紙または坪量が多い用紙に印刷する場合はこのオプションを選択します。「厚紙」の用紙で補正を行う場合、プリンタードライバー、または Command WorkStation のジョブのプロパティ（「用紙」タブ）で適切な厚紙を指定する必要があります。

メモ：「厚紙」の用紙で補正を行う場合、プリンタードライバー、または Command WorkStation のジョブのプロパティ（「用紙」タブ）で適切な厚紙を指定する必要があります。

7 手順2で「中とじ」製本を選択した場合は、表紙設定を指定します。

メモ：表紙設定は中とじ製本でのみ使用できます。詳細は、[表紙を追加する](#)（26 ページ）を参照してください。

8 設定を保存するには「OK」をクリックします。ジョブをキャンセルするには「キャンセル」をクリックします。あるいは、「印刷」メニューを使用して、ジョブの印刷、処理、またはプルーフ印刷の各オプションの1つを選択します。

Booklet Maker ウィザードを使用してブックレットを作成する

Booklet Maker ウィザードでは、指示に従いながら段階的な手順でブックレットを作成できます。

1 「レイアウト」タブをクリックし、「製本」オプションを選択します。

2 「ウィザード起動」をクリックします。

- 3 ウィザードのナビゲーションを行うには、以下のコントロールを使用します。
 - 次の画面に進むには、「次へ」をクリックします。
 - 前の画面に戻るには、「前へ」をクリックします。
 - 設定内容をキャンセルして Booklet Maker を終了するには、「キャンセル」をクリックします。
- 4 ウィザードに表示される手順に従います。

メモ：「製本タイプ」で「中とじ」または「複合中とじ」が選択されている場合は、表紙設定および内容を指定します。「複合中とじ」が選択されている場合は、サブセット内のシート数を指定します。
- 5 設定の概要を表示します。
- 6 ブックレットを保存するには「完了」をクリックします。また、設定を変更するには「前へ」をクリックし、ジョブをキャンセルするには「キャンセル」をクリックします。

製本タイプ

ブックレットを作成する際には、「製本タイプ」オプションを選択し、とじ方法ととじ位置を選択します。

とじ方法により、印刷ジョブの面付けの方法が決まります。とじ位置により、ブックレットの背表紙の位置、レイアウトの方向、ページ内容の回転の有無が決まります。

とじ方法

Booklet Maker 次のとじ方法がサポートされています。

- **中とじ** (9 ページ)
- **複合中とじ** (10 ページ)
- **無線とじ** (12 ページ)
- **1-up 無線とじ** (12 ページ)

複写機/プリンターに無線とじフィニッシャーなど製本用フィニッシャーを備えている場合、その他のとじ方法については取扱説明書の『印刷ガイド』を参照してください。

とじ位置

Booklet Maker のオプションが 3 つあります。

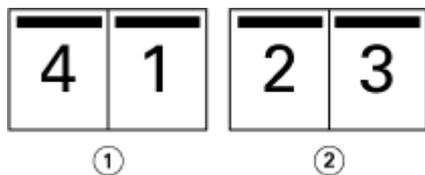
- 左とじー通常、左から右方向に文字を読む言語で使用されます。ブックレットは左側から開きます。
- 右とじー通常、右から左方向に文字を読む言語で使用されます。ブックレットは右側から開きます。
- 上とじー通常、カレンダー、横向きの書類、シネマサイズの書類で使用されます。ブックレットは上方向に開きます。

「上とじ」のとじ位置で表紙がある場合、裏表紙の外側は自動的に 180 度回転しておもて表紙の向きと同じ向きになります。

次の図に、とじ位置による 2 面付けのレイアウトの違いを示します。

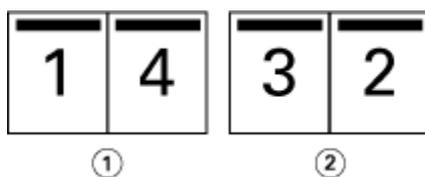
左とじ

図 1: 左とじ



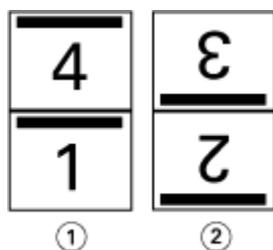
1	おもて
2	裏

図 2: 右とじ



1	おもて
2	裏

図 3: 上とじ



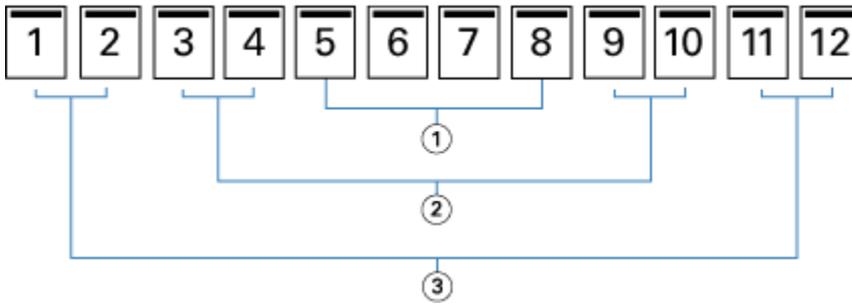
1	おもて
2	裏

中とじ

「中とじ」は、サドルステッチとじとも呼ばれ、もっとも簡単なとじ方法です。「中とじ」では、折り丁部分がグループごとに綴じられ、中央折り目に沿ってステープル（ホチキス）で止めるか縫われて背表紙になります。「中とじ」ではクリープが生じます。

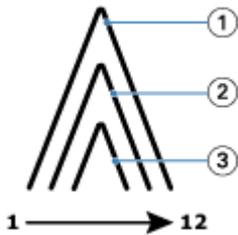
「中とじ」には、印刷済みおよびインラインカバーのオプションが含まれています。

次の図は、左中とじ用に整版された 12 ページの書類の組み付けの折り丁を示しています。



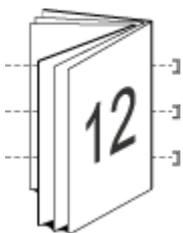
1	折り丁 3
2	折り丁 2
3	折り丁 1

次の図は、12 ページの中とじの折り丁がどのように 1つのグループとして折られるかを示しています。



1	折り丁 1
2	折り丁 2
3	折り丁 3

次の図は、折り線に沿って折り丁がどのように糸またはステープル（ホチキス）でとじられるかを示しています。

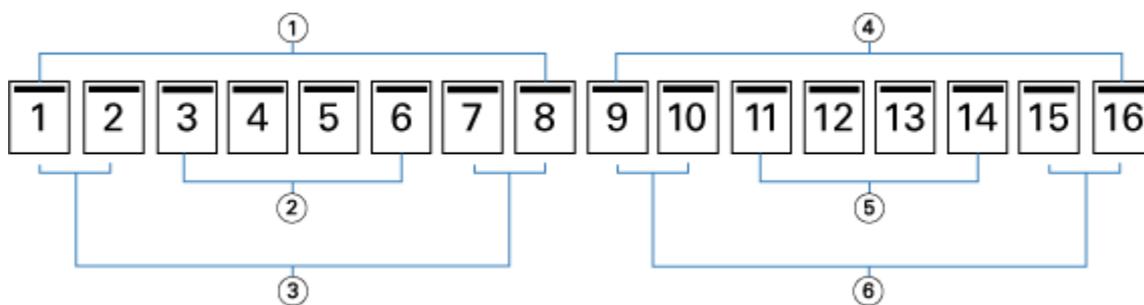


複合中とじ

複合中とじでは、複数の中とじのブックレット（サブセット）を結合してより大きなブックレットを形成します。サブセットを折り目（背表紙）に沿って重ね合わせて、印刷後に糸または接着剤でとじます。複合中とじではクリーブが生じます。

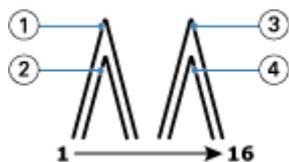
サブセット内のシート数（中とじ） - 各サブセットに含めるシートの数を指定します。

次の図は、複合中とじ、左とじで 16 ページの書類を面付けしてとじる場合を示しています。各サブセットには 2 枚のシート（シートごとに 8 ページの書類ページ）が含まれます。



1	サブセット 1
2	折り丁 2
3	折り丁 1
4	サブセット 2
5	折り丁 4
6	折り丁 3

次の図は、16 ページの複合中とじの折り丁がどのように折り重ねられ、サブセットがどのように重ね合わされるかを示しています。サブセット 1 には折り丁 1 および 2、サブセット 2 には折り丁 3 および 4 が含まれます。



1	折り丁 1
2	折り丁 2
3	折り丁 3
4	折り丁 4

次の図は、複合中とじ、左とじのブックレットの場合に、サブセットが折り線に沿ってどのように重ねてとじられるかを示しています。

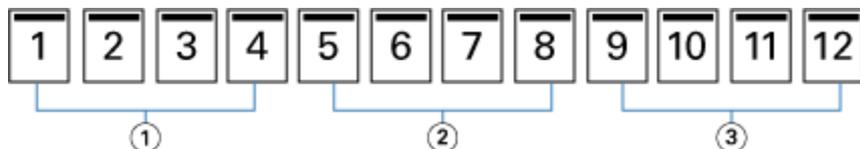


無線とじ

無線とじでは、折り丁を1つずつ別々に折り、折り目に沿って折り丁を重ね合わせます。この折り目がブックレットの背表紙になります。

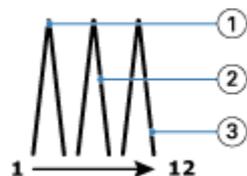
A 折り丁 (一枚) 折りを入れた1枚のシートで、連続した順番でブックレットのページを構成します。ブックレットの各折り丁は同じように折りを入れます。無線とじでは、表紙に糊づけする前に背となる部分を平らにする必要があります。また通常、より大きなとじしろを必要とします。無線とじではクリーブが生じます。

次の図は、無線とじ、左とじで12ページの書類を面付けしてとじる場合を示しています。



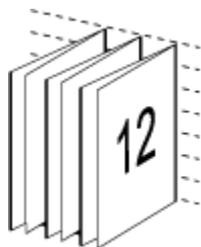
1	折り丁 1
2	折り丁 2
3	折り丁 3

次の図は、無線とじの折り丁がそれぞれ別々に折られてから、どのように折り目に沿って重ねられるかを示しています。



1	折り丁 1
2	折り丁 2
3	折り丁 3

次の図は、無線とじ、左とじのブックレットの場合に、折り丁が折り目に沿ってどのように重ねられるかを示しています。



1-up 無線とじ

「1-up 無線とじ」は、印刷した単数ページを重ね合わせ、必要に応じて用紙の背に当たる部分を裁断して接着し、表紙で包んだ形で綴じます。

「1-up 無線とじ」でブックレットを印刷するには、複写機/プリンターに無線とじをサポートしている高機能なフィニッシャーが搭載されている必要があります。

複写機/プリンターが「1-up 無線とじ」をサポートしている場合は、取扱説明書の『『印刷ガイド』』を参照してください。

製本方法が 1-up 無線とじの場合は、Booklet Maker で用紙種類の混合の設定を指定できます。

用紙サイズ

「用紙サイズ」は、ブックレットの印刷に使用する実際の用紙（折り無し）のサイズです。

ブックレットの用紙サイズを選択する際には、次の複数の選択肢があります。

- Paper Catalog から選択する（Paper Catalog が Fiery サーバーでサポートされている場合）
- カスタムの用紙サイズを作成する
- 書類サイズを選択する
- 選択した用紙サイズに合わせて書類ページを縮小する

メモ：「用紙に合わせて縮小」オプションは、書類のページサイズを縮小するだけです。「用紙に合わせて縮小」では、拡大はしません。詳細は、「[用紙に合わせて縮小](#)」オプション（15 ページ）を参照してください。

カスタムページサイズ

Booklet Maker ブックレットの本文ページと表紙ページにカスタムページサイズを使用することができます。プリンタードライバーから Booklet Maker にアクセスする場合は、カスタムの書類サイズを作成することもできます。カスタムページサイズの最小および最大サイズは、複写機/プリンターまたはフィニッシャーの機能によって異なります。

プリントデバイス用にサポートされているカスタムサイズの詳細については、取扱説明書の『『印刷ガイド』』を参照してください。

書類サイズ

書類サイズとは、オリジナル書類の各ページのサイズのことであり、使用しているアプリケーションの「プリント設定（ページ設定）」ダイアログボックスで定義されています。ブックレットをデザインする際は、書類サイズをデジタル入力（オリジナル書類で定義されているページサイズ）、用紙サイズを物理的な出力（複写機/プリンターのトレイにセットされている実際の用紙のサイズ）と考えると便利です。

メモ：アプリケーションの書式設定メニューで指定したサイズは、アプリケーションの「プリント設定（ページ設定）」ダイアログボックスで指定したサイズと異なる場合があります。Booklet Maker で使用するサイズは、アプリケーションの「プリント設定（ページ設定）」ダイアログボックスで指定した値です。

給紙辺

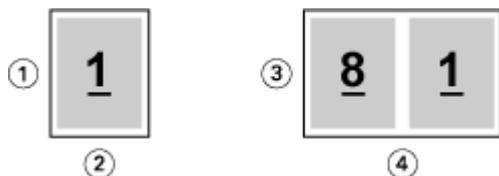
複写機/プリンターに先に入る方の辺を給紙辺といいます。給紙方向（短辺給紙または長辺給紙）は、特定の用紙サイズに関連付けられています。

「プリント設定（ページ設定）」で「書類サイズ」を選択する場合、指定した用紙サイズの給紙辺を考える必要はありません。ただし、フィニッシャーによっては特定の給紙辺でなければならない場合があります。Booklet Maker では、フィニッシャーでサポートされていない給紙方向の用紙サイズがある場合、その用紙サイズは、利用できるサイズの一覧でグレーアウトされています。

書類サイズと同じ

このオプションを選択すると、書類の用紙サイズをオリジナルのファイルと同じサイズを保持できます。用紙サイズは、書類ページのサイズの少なくとも2倍になるように選択する必要があります。

たとえば、8.5 x 11 インチの書類は、11x17 インチの用紙に印刷します。書類サイズ（入力）は下の図の左側に、用紙サイズ（出力）は右側に表示されます。



1	11 インチ
2	8.5 インチ
3	11 インチ
4	17 インチ

A4 サイズ（297 x 210 mm）の書類は、A3 サイズ（297x420 mm）に印刷します。書類サイズ（入力）は下の図の左側に、用紙サイズ（出力）は右側に表示されます。



1	297 mm
2	210 mm
3	297 mm
4	420 mm

メモ：上の例の図は、同じ系列（A4～A3）または標準（レターからタブロイド紙）の用紙サイズを示しています。Booklet Maker ある系列から別の系列（たとえば、A4 からレター）に整版することもできます。詳細は、[ページを調整する](#)（17 ページ）を参照してください。

選択した用紙サイズに合わせて書類ページを縮小する

特定の用紙サイズに合わせて書類のページサイズを縮小するには、「用紙サイズ」メニューから目的のサイズを選択します。Booklet Maker オリジナルの書類の縦横比を保持しながら、選択した用紙サイズに合わせて書類ページを自動的に縮小します。

たとえば、書類サイズが 8.5x11 インチの印刷ジョブに「用紙サイズ」で 8.5x11 インチを選択した場合、書類ページは 5.5x8.5 インチに縮小され、用紙に 2 ページずつ並列して印刷されます。下の図は、左側に書類サイズ（入力）、右側に用紙サイズ（出力）を示しています。



1	11 インチ
2	8.5 インチ
3	8.5 インチ
4	11 インチ

また、書類サイズが A4 (297x210 mm) の印刷ジョブに「用紙サイズ」で A4 を選択した場合、書類ページは 210x148.5 mm に縮小され、用紙に 2 ページずつ並列して印刷されます。下の図は、左側に書類サイズ（入力）、右側に用紙サイズ（出力）を示しています。



1	297 mm
2	210 mm
3	210 mm
4	297 mm

メモ：「用紙に合わせて縮小」オプションは、書類ページサイズを縮小するだけです。「用紙に合わせて縮小」は、拡大は行いません。詳細は、「[用紙に合わせて縮小](#) オプション (15 ページ) を参照してください。

「用紙に合わせて縮小」オプション

Booklet Maker は、デフォルトで、オリジナル書類の縦横比を保持しながら選択された用紙サイズに合わせて書類のページを縮小します。

書類サイズと選択した用紙サイズに基づいて、Booklet Maker は、次のように拡大縮小率を自動的に計算します。

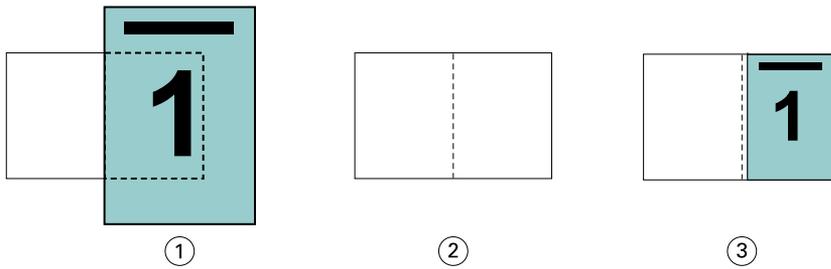
用紙サイズに対する書類サイズ	拡大縮小率
書類サイズが用紙サイズの 1/2 以下の場合	100%
書類サイズが用紙サイズの 1/2 よりも大きい場合	用紙に合わせて縮小

メモ：「用紙に合わせて縮小」オプションは、書類ページサイズを縮小するだけです。「用紙に合わせて縮小」では、拡大はしません。

「用紙に合わせて縮小」をオン

Booklet Maker 選択した用紙サイズの 1/2 になるように書類ページを自動的に縮小します。

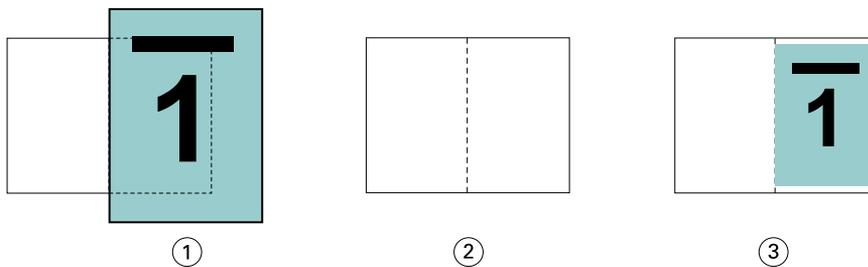
たとえば、13x19 インチの書類は、11x17 インチの用紙の 1/2 サイズ (8.5x11 インチ) に縮小されます。



1	書類サイズ - 13x9 インチ
2	用紙サイズ - 用紙サイズ 11x17 インチ (1/2 = 8.5x11 インチ)
3	結果 - 書類サイズ 13x19 インチが用紙サイズの 1/2 (8.5x11 インチ) になるように縮小

Booklet Maker 異なる系列の用紙や、非標準サイズの用紙にも面付けすることができます。

たとえば、A4 サイズの書類を、レターサイズ of 用紙に合わせて縮小できます。書類サイズは、レターサイズの用紙 (8.5x11 インチ) の 1/2 である 5.5x8.5 インチに縮小されます。



1	書類サイズ - A4 (210x297 mm)
2	用紙サイズ - 用紙サイズ 8.5x11 インチ (1/2 = 5.5x8.5 インチ)
3	結果 - A4 サイズの書類が 1/2 (5.5x8.5 インチ) の用紙サイズになるように縮小

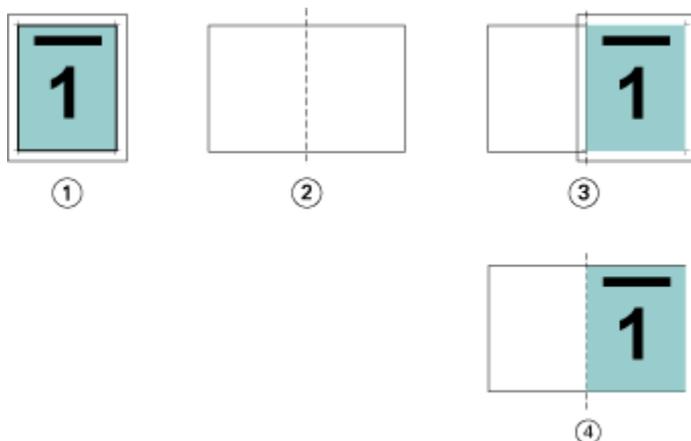
「用紙に合わせて縮小」をオフ

「用紙に合わせて縮小」オプションを選択しない場合、書類のページは 100% の倍率で印刷されます。選択した用紙サイズの 1/2 サイズに収まらない内容は切り捨てられます。

場合によっては、意図的に切り捨てることもあります。たとえば、書類にプリンターのマークが含まれていて、用紙サイズの 1/2 のサイズに収まっていない場合、「用紙に合わせて縮小」オプションをオフにすると、内容が 100% の倍率で印刷されます。一方、このオプションをオンにすると、ページ全体の内容 (プリンターのマークを含む) が指定された用紙サイズに合わせて縮小されます。

同様に、フルブリードを設定するために書類サイズを用紙サイズの 1/2 より大きく設定している場合、「用紙に合わせて縮小」オプションをオフにすると、ページ内容を 100% の倍率で印刷します。

次の図は、8.5x11 インチの内容にプリンターのマークが入ることで書類ページのサイズが 10.2x12.5 インチになっている例を示しています。「用紙に合わせて縮小」を「オフ」にすることにより、プリンターのマークが切り捨てられ、ページ内容が 100% の倍率で用紙の 1/2 のサイズに印刷されます。



1	書類サイズ - 10.2x12.7 インチ、目的の内容 8.5x11 インチ
2	用紙サイズ - 用紙サイズ 11x17 インチ (1/2 = 8.5x11 インチ)
3	切り捨て前
4	結果 - 目的の内容 (8.5x11 インチ) が 100%の倍率で印刷

ページを調整する

ページ調整は、オリジナル書類で定義したページレイアウトを変更するものではありません。ページ調整では、印刷可能領域（テキストと画像に割り当てられたスペース）にマージン（印刷可能領域の周囲の白またはブランクのスペース）を加えたページ内容全体をずらします。

Booklet Maker 次の3つのオプションを使ってページ内容を配置し、微調整します。

- ページ調整- このオプションを使用して、背表紙またはページのセンターに揃えてページ内容を配置します。
- とじしろ増幅値 - とじるための余白（とじしろ）を追加します。
- クリープ補正 - このオプションを使用して「中とじ」または「複合中とじ」を選択した場合にクリープによって生じるページ内容のずれを補正します。

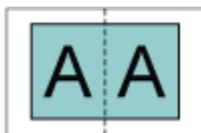
メモ：ページ調整のオプションは、書類サイズの拡大縮小率を変更するものではありません。「用紙に合わせて縮小」オプションを「オフ」に設定している場合、書類の内容のうち用紙サイズに収まらない部分はクリッピングされます。クリッピングされないようにするには、「ページ調整」および「とじしろ」のオプションを使用してページ内容の位置を調整します。

ページを調整する

Booklet Maker では、「ページ調整」オプションでページ内容の最初の位置（「センター」または「背表紙」）を指定します。後でこの位置は、とじしろの値を増やすことでさらに調整できます。

「ページ調整」オプションでは、ページ内容の最初の位置を背表紙または中央のどちらかに合わせて指定します。

- Command WorkStation の「ジョブのプロパティ」の「レイアウト」タブで「製本」を選択し、画面の指示に従って「ページ調整」オプションを設定します。
- 背表紙（デフォルト）—書類ページの内容は、シート中央の折り目に当たる背の部分に合わせて配置されます。



- センター—書類ページの内容は、シートの 1/2 サイズの中央に配置されます。

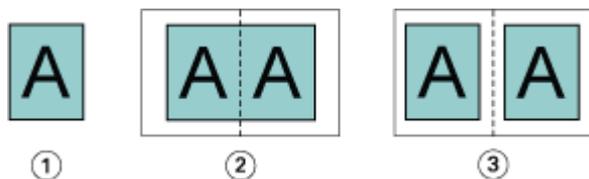


「用紙に合わせて縮小」オプションでページを調整する

「用紙に合わせて縮小」オプションを「オン」（有効）または「オフ」（無効）にすることでページを調整できます。

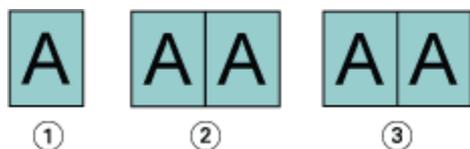
「用紙に合わせて縮小」をオンにてページを調整する

次の図は、書類サイズが用紙の 1/2 のサイズより小さい場合のページ配置を示しています。



1	書類サイズ<用紙の 1/2 サイズ
2	背の部分に合わせて配置されたページ
3	中央に配置されたページ

次の図は、書類サイズが用紙の 1/2 のサイズに等しい場合のページ配置を示しています。この場合、見た目の違いはありません。

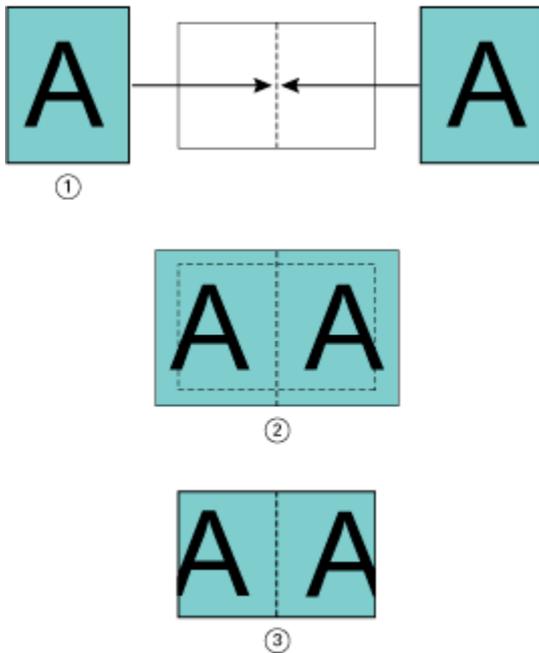


1	書類サイズ=用紙の 1/2 サイズ
2	背の部分に合わせて配置されたページ
3	中央に配置されたページ

メモ：書類サイズが用紙の 1/2 のサイズよりも大きくて「用紙に合わせて縮小」オプションが「オン」になっている場合、最終的な印刷結果は元の書類の縦横比によって決まります。

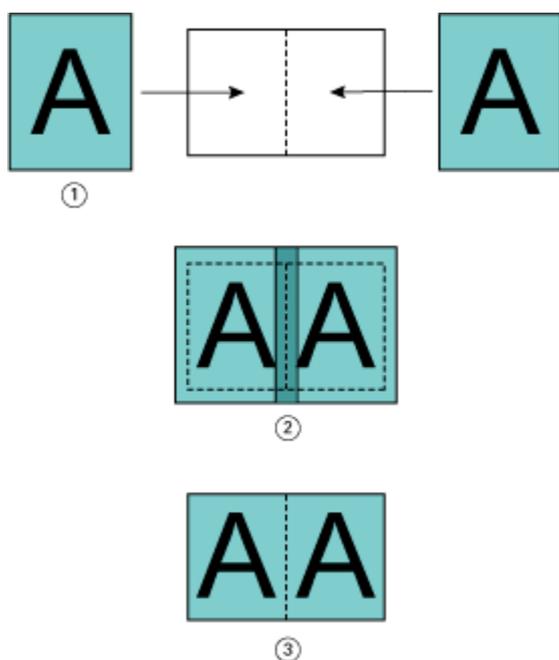
「用紙に合わせて縮小」をオフにしてページを調整する

次の図は、書類サイズが用紙の 1/2 のサイズより大きくて「用紙に合わせて縮小」が「オフ」になっている場合、ページ配置を「背表紙」にしたときのページ配置を示しています。



1	書類サイズ>用紙の 1/2 サイズ
2	ページを背の部分に合わせて配置、「用紙に合わせて縮小」はオフ
3	最終的な印刷結果

次の図は、書類サイズが用紙の 1/2 のサイズより大きくて「用紙に合わせて縮小」が「オフ」になっている場合、ページ配置を「センター」にしたときのページ配置を示しています。



1	書類サイズ>用紙の 1/2 サイズ
2	ページを中央に配置、「用紙に合わせて縮小」はオフ
3	最終的な印刷結果

ページ調整ととししろ

とししろは、印刷したジョブをとじたり、他の仕上げオプションを適用したりするための追加マージン（余白）です。

Booklet Maker では、「ページ調整」オプションでページ内容の配置（「センター」または「背表紙」）を指定します。その後、とししろ値を増やすことで、さらに配置を調整することができます。「とししろ増幅値」オプションにより、ブックレット内の隣接したページ間の余白を増やします（単位はミリまたはインチ）。

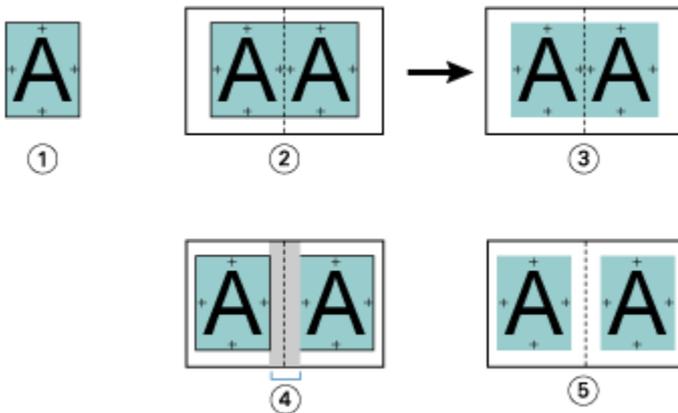
メモ：とししろで指定する値は、オリジナル書類で指定したページのマージンやレイアウトを変更するものではありません。とししろは、製本の仕上げに必要な余白を確保するための追加マージンです。

複写機/プリンターでサポートされているとししろ値の範囲の詳細については、取扱説明書の『『印刷ガイド』』を参照してください。

背表紙に揃えた配置ととししろ

ページを「背表紙」に揃えて配置している場合、背表紙から片方のページ内容までの余白は、とししろ値の 1/2 です。

次の図は、「ページ調整」で「背表紙」を選択して、とししろ無しで印刷した結果と、とししろを追加して印刷した結果を示しています。

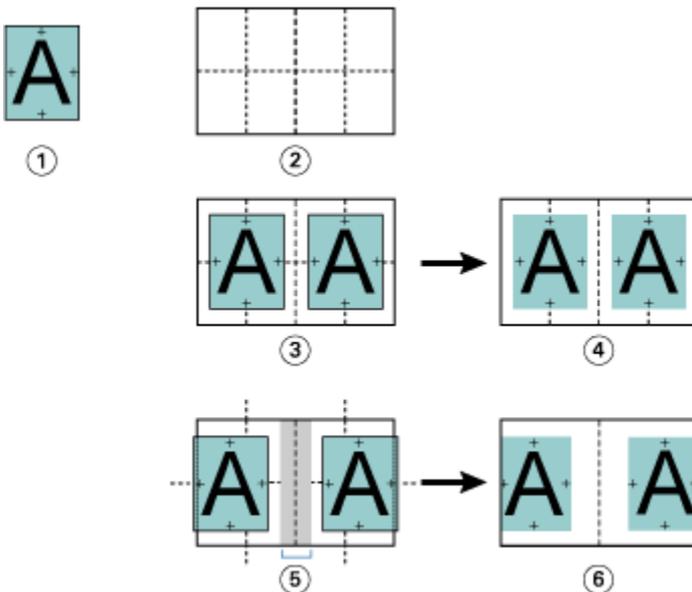


1	書類サイズ<用紙の 1/2 サイズ
2	背表紙に揃えた配置で、とじしろ無しの場合
3	図 2 の印刷結果
4	背表紙に揃えた配置で、とじしろ有りの場合
5	図 4 の印刷結果

センターに揃えた配置ととじしろ

ページがセンターに配置されている場合、背表紙からページ内容までの余白は、とじしろ値の 1/2 の値に、センターに配置した際にできている元の余白分を追加した値になります。

次の図は、「ページ調整」で「センター」を選択して、とじしろ無しで印刷した結果と、とじしろを追加して印刷した結果を示しています。



1	書類サイズ<用紙の 1/2 サイズ
2	用紙サイズ
3	センターに揃えた配置で、とじしろ無しの場合

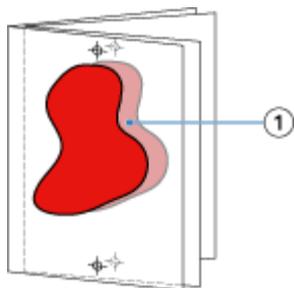
4	図3の印刷結果
5	センターに揃えた配置で、とじしろ有りの場合
6	図5の印刷結果

メモ: とじしろ値を増やす場合は、シートの端または用紙の印画可能領域を超えるページ内容はクリッピングされることがあるので注意してください。

クリープ補正

クリープが発生するのは、厚紙に印刷された中とじまたは複合中とじのブックレット、またはページ数の多いブックレットです。

シートを折り重ねて折り丁（ブックレットのページを形成するように折り重ねられたシート）を作成する際には、シートを重ねるたびにページ内容の位置が少しずつずれていきます。そのため、ブックレットを裁断すると、冊子の中央に近いページほど外側のマージンが狭くなります。その結果、ページの内容が切り落とされたり、仕上がり時の印刷位置が用紙の端に近くなりすぎたりします。



1 クリープ

1-up 無線とじでの用紙種類の混合

製本ジョブが 1-up 無線とじの場合のみ、Command WorkStation の「ジョブのプロパティ」の Booklet Maker で用紙種類の混合設定を指定できます。用紙種類の混合機能の拡張では、「用紙種類の混合」ダイアログとビューアが Booklet Maker のウィンドウに統合されます。

メモ: 1-up 無線とじでの用紙種類の混合はプリンタードライバーではサポートされていません。この機能を使用するには、ジョブを Command WorkStation の待機キューに送信する必要があります。

「用紙種類の混合」ビューアは、完成品の実際のページ付けを表示するので、「用紙種類の混合」ダイアログで行った選択内容がリアルタイムで反映されます。ジョブのレイアウトをページまたはシートとして見ることができます。

Booklet Maker の 1-up 無線とじでは「用紙種類の混合」で以下の指定ができます。

- 章の開始 - 両面印刷のジョブで章の開始が指定されているときは、間接的ブランクが挿入されます。
- ページ範囲とそのページ範囲の用紙。
- ブランクページの挿入とその挿入ページの用紙 - ユーザーの指定によるブランクページの挿入は、直接的ブランクです。「用紙種類の混合」ビューアでは、直接的ブランクと間接的ブランクの表示が異なります。

メモ: タブ挿入および表紙定義設定は、Booklet Maker の「用紙種類の混合」では指定できません。

Booklet Maker の「用紙種類の混合」を使用する場合、「用紙」タブのほうは無効になります。Booklet Maker で行った選択内容が、「用紙」タブと Fiery Compose に表示されます。

Mixed Media 設定を指定する Booklet Maker

製本タイプとして 1-up 無線とじを選択すると、Mixed Media ビューアが表示されます。

始める前に

1-up 無線とじをサポートしない複写機/プリンターもあります。1-up 無線とじをサポートしない場合、このオプションは「製本タイプ」メニューに表示されません。

- 1 Command WorkStation のジョブセンターでジョブを選択し、ジョブのプロパティを開きます。
- 2 「レイアウト」タブで「製本」を選択します。
- 3 「製本タイプ」に「1-up 無線とじ」を選択します。
- 4 Choose the Binding edge.
- 5 「本文用紙サイズ」と「表紙用紙サイズ」を指定します。

メモ：Booklet Maker の Mixed Media では Define Covers を選択できません。表紙の定義は、標準の Booklet Maker オプションを使用して作成します。

- 6 表紙設定と他の必要な設定を行います。
- 7 Mixed Media ビューアまでスクロールダウンし、次の設定を行います。
 - 「ページ」タブ - クリックすると、書類のページに従って整理されたブックレットのレイアウトと、シートとの関連が表示されます。
 - 「シート」タブ - クリックすると、シートに従って整理されたブックレットのレイアウトと、ページとの関連が表示されます。
 - 「章の開始ページ」フィールド - 各章を開始するページの番号をコンマで区切って入力します。ビューアでは、章の開始ページはマーカーで表されます。必要に応じて、間接的ブランクページが挿入されます。以下のグラフィックでは、章開始マーカーと、10 ページの後に挿入された間接的ブランクページを示しています。



- 「新規ページ範囲」 - アイコンまたはボタンをクリックしてページ番号を入力し、指定したページ範囲に用紙設定を適用します。



- 「新規挿入」 - アイコンまたはボタンをクリックして任意の場所にブランクページを挿入し、その挿入ページに用紙設定を適用します。



- 「編集」 - アイコンまたはボタンをクリックして「ページ範囲」または「新規インサート」用紙設定を変更します。



- 「削除」 - アイコンまたはボタンをクリックして「ページ範囲」または「新規インサート」用紙設定を削除します。



次のタスク

Fiery サーバーに適用する用紙設定の詳細は、取扱説明書の『『印刷ガイド』』および『『ユーティリティー』』を参照してください。

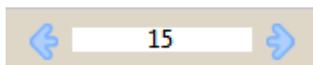
Mixed Media でジョブのナビゲーションを行う

製本タイプとして 1-up 無線とじを選択すると、Mixed Media ビューアが表示されます。

- Mixed Media ビューアで、書類内を移動するには次の方法があります。
 - スクロールバー。
 - 標準のナビゲーション用矢印 - 内側の矢印をクリックすると、次のページまたは前のページに順に移動します。外側の矢印をクリックすると、書類の最初または最後に移動します。移動先がない場合、矢印は無効になります。



- アクションのナビゲーション用矢印 - 矢印をクリックするたびに、次のアクションまたは前のアクションに順に移動します。テキストフィールドには該当のアクションが表示されます。移動先がない場合、矢印は無効になります。



ジョブのレイアウトをページとして表示する

ジョブのページ付けをページ表示またはシート表示するよう選択できます。文書のページとシートは互に対応しているので、どのページがどのシートで印刷されるかがわかります。

- ジョブをページ表示するには、ビューアの一番上にある「ページ」タブをクリックします。



下記は、ジョブのページ表示です。タブ上の「ページ」の後の数字は書類ページ数で、各ページは最上段にサムネイルで表示されます。各ページはソース書類を普通に読む順序で表示されます。

次の段には、複写機/プリンターでシートが並ぶ順序を表示します。表紙の内容は、読む順序で先頭に表示されます。この例では書類の最初の2ページが表紙となっています。ジョブの最後にある裏表紙の内容は、スクロールバーまたはその他のシートツールを使用して表示します。

ジョブのレイアウトをシートとして表示する

ジョブをシート表示するときは、シートの順序が重要なポイントとなります。

- ジョブをシート表示するには、ビューアの一番上にある「シート」タブをクリックします。



一番上の段のサムネイルは、プリンター複写機/プリンター上での実際の印刷順序を表します。次の段には、どのページがどのシートに印刷されるかが表示されます。たとえば、以下の図の表紙のシートには、おもて表紙（書類の最初の2ページの内容）、背表紙（最後から3ページ目の内容）、裏表紙（書類の最後の2ページの内容）が含まれています。

メモ：表紙は、プリンターによっては最後のシートに出力されることもありますが、常に先頭に表示されます。

Booklet Maker Mixed Media の制限事項

1-up 無線とじの場合の Mixed Media では、次の操作を実行できません。

- 内容が表紙として割り当てられた書類ページの前後または途中にページを挿入すること。
- 仕上り、製本済み設定となる本の外側にページを挿入すること。
- 表紙を物理的に分割するようなページを挿入すること。
- 1つのジョブで異なるサイズの内紙を指定すること。「新規ページ範囲」および「新規インサート」での内紙サイズの選択は、本文折り丁と同じサイズに限られます。

メモ：複写機/プリンター Z 折り丁の挿入がサポートされている場合は、本文折り丁の2倍の内紙サイズを使用できます。

表紙を追加する

Booklet Maker では、表紙を中とじのブックレットに追加し、表紙の内紙を指定することができます。

中とじのブックレットの場合のみ、Booklet Maker には、印刷済みの表紙を差し込む方法と、文書内で内紙を指定して印刷する方法の2つの表紙オプションが用意されています。文書内の表紙の場合、追加オプションを指定できます。プリントデバイスが無線とじフィニッシャーなど製本用フィニッシャーを装着している場合、追加のオプションについては取扱説明書の『『印刷ガイド』』を参照してください。

- 1 プリンタードライバーまたは Command WorkStation の「ジョブのプロパティ」の「レイアウト」>「製本」タブにある「製本タイプ」で「中とじ」を選択し、とじ位置を選択します。
- 2 ブックレットの本文の「内紙サイズ」と「ページ調整」の設定を指定します。
- 3 「表紙内容入力」メニューで、以下のいずれかを行います。

- 印刷済みの表紙を挿入するには、「印刷済み」を選択します。印刷済みの表紙は、別途印刷されるブックレットの本文ページにマージされます。このオプションを選択すると、「おもて表紙」および「裏表紙」オプションは表示されません。
- 文書内の表紙を指定するには、「おもてと裏を別に印刷」を選択します。このオプションを指定すると、表紙ページと本文ページは単一ジョブとして印刷されます。書類の各ページが1枚のシートに面付けられ、ブックレットの表紙が作られます。

元の書類にブックレットの表紙ページや表紙アートワークが含まれている場合、文書内の表紙を指定できます。表紙の内容は、書類の最初のページおよび最後のページ、または書類の最初の2ページおよび最後の2ページ、またはそれらの組み合わせのいずれかになります。このオプションを選択した場合、「おもて表紙」と「裏表紙」のオプションを指定できます。

- おもて表紙/裏表紙（文書内の表紙のみ）—おもて表紙と裏表紙を、両面印刷（シートの両面に印刷）にするか、片面印刷にするか、または両面ともブランクにするかを指定できます。元の書類にブランクページを作成する必要はありません。

メモ：文書内の表紙を「上とじ」のと同じ位置で印刷すると、裏表紙の外側は自動的に180度回転しておもて表紙の方向と一致します。

- 4 表紙の内紙、サイズ、および給紙トレイを指定するには、「表紙定義」をクリックして「表紙用内紙」設定ウィンドウを開きます。このオプションは、印刷済みの表紙と文書内の表紙の両方で使用できます。
- 5 挿入する印刷済みの表紙、または文書内の表紙について、内紙および内紙サイズを指定します。

- 6 挿入する印刷済みの表紙、または文書内の表紙を印刷する用紙が入ったトレイを選択し、「OK」をクリックします。

アプリケーション内で書類サイズを変更する

書類を作成したアプリケーションの印刷設定でオリジナルの書類のサイズを変更します。

始める前に

書類サイズを変更する前に、使用する複写機/プリンターで変更後の用紙サイズがサポートされていることを確認します。

- 1 オリジナルの書類を開き、「ファイル」>「プリント設定」（または「ファイル」>「ページ設定」）を選択します。
- 2 使用する複写機/プリンターを「プリンター名」メニューから選択します。
- 3 使用するサイズを使用可能な用紙サイズの一覧から選択し、「OK」をクリックします。

メモ：一覧から使用する用紙サイズを選択する際、用紙のエッジフィードを考慮する必要はありません。

測定単位を変更する

測定にはミリメートル、ポイント、またはインチを使用できます。

メモ：プリンタードライバーでは、測定単位を変更することはできません。

- 1 Command WorkStation で「編集」>「環境設定」を選択します。
- 2 「サイズ」タブをクリックします。
- 3 単位（ミリメートル、ポイント、またはインチ）を選択し、「OK」をクリックします。

メモ：変更は、次に Command WorkStation を起動するまで反映されません。

ブックレットをプレビューする

ブックレットを「プレビュー」または「Raster Preview」ウィンドウでプレビューできます。

メモ：プリンタードライバーで Booklet Maker を操作している場合、ジョブをプレビューすることはできません。

- ジョブセンターの Command WorkStation 待機リストで、印刷ジョブを選択し、「アクション」>「プレビュー」を選択します。
 - スプール後待機のジョブの場合、「プレビュー」ウィンドウにジョブのプレビューが表示されます。
 - 処理後待機のジョブの場合、「Raster Preview」ウィンドウにジョブのプレビューが表示されます。

製本ワークフロー例

この Booklet Maker ワークフロー例では、ウィザードを使用して次の標準的なブックレットを作成する場合の大まかな手順を示します。無線、中とじ、および複合中とじ。

- [無線とじのブックレットを印刷する](#) (28 ページ)
- [中とじのブックレットを印刷する](#) (28 ページ)
- [複合中とじのブックレットを印刷する](#) (29 ページ)

無線とじのブックレットを印刷する

ウィザードを使用して無線とじブックレットを印刷することができます。

- 1 プリンタードライバーまたは Command WorkStation のジョブのプロパティから Booklet Maker にアクセスします。
- 2 「ウィザード起動」をクリックします。
- 3 「製本タイプ」と製本用のとじ位置を選択し、「次へ」をクリックします。
- 4 「用紙サイズ」を選択して、「次へ」をクリックします。
- 5 ページ調整ととじしろ値（オプション）を設定し、「次へ」をクリックします。
- 6 設定概要でブックレットの設定を確認し、「完了」をクリックして、プリンタードライバーまたは Command WorkStation のジョブのプロパティの「レイアウト」>「製本」タブに戻ります。
- 7 プリンタードライバーまたは Command WorkStation のジョブのプロパティで、他の印刷オプション（任意）と仕上げオプション（折り、ステープル、とじなど）を設定し、「OK」をクリックします。

中とじのブックレットを印刷する

ウィザードを使用して中とじのブックレットを印刷することができます。

- 1 プリンタードライバーまたは Command WorkStation のジョブのプロパティから Booklet Maker にアクセスします。
- 2 「ウィザード起動」をクリックします。
- 3 「製本タイプ」と製本用のとじ位置を選択し、「次へ」をクリックします。
- 4 表紙ソースと内容を指定します。
- 5 表紙ソースと内容に対して「おもてと裏を別に印刷」を選択した場合は、表紙の印刷方法を指定します。印刷方法には「おもてと裏」、「外側と内側」があります。「次へ」をクリックします。
- 6 表紙ソースと内容に対して「挿入」を選択した場合は、「次へ」をクリックします。
- 7 「用紙サイズ」を選択して、「表紙定義」をクリックします。
- 8 「表紙用用紙」設定ウィンドウで、用紙、サイズ、給紙トレイを指定します。

- 9 「OK」をクリックし、「次へ」をクリックします。
- 10 ページ調整、とじしろ値、クリープ補正（オプション）を設定します。
- 11 設定概要でブックレットの設定を確認し、「完了」をクリックして、プリンタードライバーまたは Command WorkStation のジョブのプロパティの「レイアウト」>「製本」タブに戻ります。
- 12 他の印刷オプション（任意）と仕上げオプション（折り、ステープル、とじなど）を設定し、「OK」をクリックします。

複合中とじのブックレットを印刷する

ウィザードを使用して複合中とじブックレットを印刷することができます。

- 1 プリンタードライバーまたは Command WorkStation のジョブのプロパティから Booklet Maker にアクセスします。
- 2 「ウィザード起動」をクリックします。
- 3 「製本タイプ」と製本用のとじ位置を選択し、「次へ」をクリックします。
- 4 「用紙サイズ」とサブセット内のシート数を選択し、「次へ」をクリックします。
- 5 ページ調整、とじしろ値、クリープ補正（オプション）を設定し、「次へ」をクリックします。
- 6 設定概要でブックレットの設定を確認し、「完了」をクリックして、プリンタードライバーまたは Command WorkStation のジョブのプロパティの「レイアウト」>「製本」タブに戻ります。
- 7 プリンタードライバーまたは Command WorkStation のジョブのプロパティで、他の印刷オプション（任意）と仕上げオプション（折り、ステープル、とじなど）を設定し、「OK」をクリックします。

Booklet Maker 制限事項

Booklet Maker には、PDF ファイルやキュータイプなどに関する制限があります。

セキュリティ付き PDF ファイル

Adobe PDF ファイルは、セキュリティ設定を使用して保存できます。セキュリティ設定により、PDF ファイルに対する開く/印刷/編集の操作が制限されます（「制限付きのドキュメント」）。制限付きのドキュメントは、Booklet Maker を使用して印刷することができません。

キュータイプ

Booklet Maker は、直接接続キューに送信されたジョブをサポートしません。Booklet Maker 印刷ジョブは、待機キューまたは印刷キューに送信する必要があります。

プリントオプション/Command WorkStation のジョブのプロパティ

- 「バリエブルデータ印刷」オプションは Booklet Maker ではサポートされていません。
- Mixed Media は Booklet Maker ではサポートされていません。
- 「PPT 白背景除去」（PowerPoint 用）オプションは Booklet Maker ではサポートされていません。

Booklet Maker 用語集

以下に製本処理に関連する用語を示します。

2-up 面付け	1 枚の用紙の裏表に 2 枚の書類ページを印刷します。
システム管理者	Command WorkStation および Fiery サーバーのコントロールパネルの全機能にアクセスできます。システム管理者にはパスワードが必要です。
ページ調整	「ページ調整」コントロールでは、シートの予め定義したスロット内でページの位置を指定します。たとえば、ページのサイズがスロットより小さくなるように変更された場合、その位置に対応するコントロールをクリックして、ページをスロットの左上に配置することができます。
縦横比	幅と高さの関係（比率）を示します。通常、「縦向き」は高さよりも幅が短い場合を指します。「横向き」は、幅が高さより長い場合を指します。
裏カラプロファイル	用紙の裏面のみに適用されるデフォルトのカラプロファイルを選択します。ジョブのプロパティで新しいカラプロファイルを指定すると、この属性は上書きされます。
ブリード	トンボの外までコンテンツを拡張させることを指します。印刷領域がトリミングしたページの端まで拡張されるように削除します。
クリッピングインジケーター	指定された拡大値が大きく、ページがシートの端よりはみだして印刷される場合に表示されます。ウィンドウがレイアウトモードの場合、クリップしたページの端がイエローでハイライト表示されます。ウィンドウがプレビューモードの場合は、「拡大縮小率」フィールドの左側にクリッピングアイコンが表示されます。また、ページのプレビューにシートの端で切り取られたコンテンツが表示されます。
クリープ	クリープ、または製本クリープは、「中とじ」および「複合中とじ」で折り丁を複数回折ることにより、内容領域がずれることを指します。
クリープ調整	「中とじ」が指定された場合、製本クリープを自動的に補正します。
クリープ調整メニュー	クリープ調整は、「中とじ」が指定された場合、自動的に製本クリープを補正します。 「カスタム」では「拡大縮小率」、「仕上がり高さ」および「仕上がり幅」フィールドがそれぞれ有効になるので、新しい倍率の値を指定できます。元の高さと幅が参照用に表示されます。数値を指定すると、Impose は自動的にその他のフィールドをアップデートして、ページの縦横比を保持します。
両面印刷	シートの両面に印刷します。
エッジフィールド	プリントデバイスに最初に入る用紙の面。
フィニッシャー	折り、ステープル、製本など印刷後の処理作業用に作られたデバイスを指します。
仕上げ	折り、ステープル、製本など印刷後の処理作業を指します。
高さを合わせる	シートの各ページスロットの高さに合うようにページを縮小拡大します。
幅を合わせる	シートの各ページスロットの幅に合うようにページを縮小拡大します。

固定ページ	固定ページモードでは、同じサイズのページを含む書類を面付けできません。
折り目	折る位置を示す点線です。
おもてカラープロファイル	用紙の表側のみに適用されるデフォルトのカラープロファイルです。ジョブのプロパティで新しいカラープロファイルを指定すると、この属性は上書きされます。
ギャングアップ	「ギャングアップ」印刷は、異なる画像やページをそれぞれ別のシートに配置するのではなく、1枚のシート上にまとめて配置します。
ゲスト	ダウンロード、ジョブステータスの表示、環境設定の編集、レイアウトの変更ができますが、ジョブログへのアクセスや Fiery サーバー設定の変更はできません。パスワードは必要ありません。
とじしろ	製本印刷などの仕上げオプションで考慮される追加の余白を指します（ページマージンと混同しないでください）。
出力可能領域	マークを実際に作れる用紙の領域を指します。
インラインカバー	同じジョブで本文ページとともに印刷される表/裏カバー。
ジョブラベル	ジョブ名、シート情報、そして日時に使用する説明テキストを保存します。
横向き	横向き書類では、幅が高さより長くなります。
レイアウトビュー	レイアウトビューモードは、番号付けされたページを表示し、面付けしたジョブでのソース書類ページの位置がわかるようになっています。レイアウトビューで各ページを回転させることもできます。
左とじ	本の左端をとじることを指します。左から右方向に読む文章に適しています。
マージン	印刷可能領域の周囲の余白、または空きスペースです。マージンは書類によって異なります。
用紙カラープロファイル	用紙の両面に適用されるデフォルトのカラープロファイルです。ジョブのプロパティで新しいカラープロファイルを指定すると、この属性は上書きされます。
ページ混合	ページ混合モードでは、サイズが異なるページを含む書類を面付けできません。
複合中とじ	中とじと無線とじ法を組み合わせたものです。「中とじ」では、折り丁をまとめて折り、サブセットを作ります。無線とじと同様、サブセットを一枚一枚重ねてのりづけします。
オフライン仕上げ	表紙を別に印刷し、印刷後に本文と合わせる方法です。
オフセット	オフセットの数値は調整位置を参考に計算され、新しい調整位置を指定したら、ゼロにリセットされます。
オペレーター	ジョブセンターの全機能にアクセスできます。デバイスセンターでは、Configure、バックアップ/復帰、パスワードの変更、ジョブログの削除にはアクセスできません。Paper Catalog、仮想プリンター、およびカラー管理機能を表示することはできますが、編集はできません。オペレーターのパスワードが必要です。
パンツール	ジョブの好きな部分をビューまでドラッグできます。

無線とじ	複数ある折り丁を個別に折り、折り目にそって重ね合わせてから、とじる方法です。背を平らにして、のりづけします。
縦向き	縦向き書類では、幅は高さより短くなります。
後処理給紙トレイ	プリントデバイスのフューザーをバイパスするブランク、または印刷済みの用紙を給紙できるトレイのことです。
プレビュー表示	プレビュー表示モードでは、最終的な印刷結果に近い形で表示されます。「WYSIWYG (What You See Is What You Get)」と呼ばれることもあります。
印字可能領域	ページ内容（テキストおよび/または画像）に割り当てられたスペースのことです。
印刷マーク	折りの位置、カット、マージン、とじしろ、ブリードを決定します。印刷マークは、印刷したシートのメインの内容領域の外側に表示されません。
印刷スプレッドシート	面付け済みのジョブとして印刷される順番とレイアウトでページを表示します。
印刷中	Fiery サーバーの場合、印刷中とは Fiery サーバーから複写機/プリンターへのラスターイメージの高速転送を意味します。ラスターイメージの高速転送により、RAM が次のジョブのために解放されます。プリントジョブのファイルは通常ディスクに保存されますが、ラスターイメージはプリントジョブの処理中または処理後に RAM に保持されます。ただし、ユーザーまたはオペレーターが指示すれば、ラスターイメージを元の印刷ジョブのファイルと共にディスクに保存できます。ラスターイメージをディスクに保存することには利点があります。ラスターファイルは処理済みのファイルなので、素早く印刷できます。また、ラスターファイルは元の書類と同じようにページ識別されているため、ラスターファイルの個別ページにアクセスできます。
処理済み/待機	ジョブの処理、および RIP（ラスターライズ）処理には、スプール済みのラスターファイルの作成（ラスター画像）が含まれます。処理済み/待機ジョブは、複写機/プリンターに送信されるまで「待機」キューで保持されます。
リーダースプレッドシート	読まれるべき順番とレイアウトでページを表示します。
右とじ	本の右端をとじることを指します。右から左方向に読む文章に適しています。
RIP 処理	RIP は、 <i>Raster Image Processing</i> （ラスターイメージ処理）の省略形です。ラスターイメージ処理では、印刷処理の最初の部分でジョブが送信されます。ジョブに指定されたプリントオプションが解釈され、ラスターイメージファイルが作成されます。このラスターファイル（ラスターイメージ）内では、カラーデータが複写機/プリンターにレンダリングされる各ドットに関連付けられています。複写機/プリンターはこのカラーデータに従って、シアン、マゼンタ、イエロー、またはブラックのトナーをページ上の適切な位置に付着させます。
中とじ	複数あるシートの共通の中央折り目部分を糸/ステイプルでとじる方法です。中とじは最も基本的なとじ方で、一般的にブックレットに使用されます。
用紙サイズにあわせる	端がはみ出ないように、ページを用紙に合わせて縮小する方法です。「用紙サイズにあわせる」はデフォルトモードです。

シート	印刷プレスで印刷ジョブをイメージ出力する用紙のことです。
折り丁（一枚）	折りを入れた一枚のシートで、連続した順番でブックレットのページを構成します。ブックレットの各折り丁は同じように折りを入れます。
片面印刷	シートの片面のみに印刷することを指します。
「サイズ」メニュー	「サイズ」メニューには、現在選択している複写機/プリンターの PPD (PostScript printer description) ファイルで定義されたすべてのページサイズを表す項目が含まれます。
背表紙	中央の折り目で折り丁を半折してそろえて、糸または糊付けします。
スプール済み/待機	オペレーターによるジョブ管理の準備中、Fiery サーバーでジョブがスプールおよび待機している状態になります。オペレーターが出力先を割り当てたら、ジョブが処理用にスプールされます。
スプール中	ジョブは印刷用に送信されると、Fiery サーバーのハードディスクに保存されます。ファイルはネットワークからパケット形式で送信されたり、ディスクから送られたりします。ジョブは、キュー内では、送信された順番に表示され、オペレーターが介入しない限り、その順番に従って印刷ワークフローで処理されます。ジョブが中断されると、そのジョブはスプールキューに送られ、次の指示を待ちます。このため、スプールキューは待機キューとも呼ばれます。
上とじ	本の上端をとじることを指します。
トンボ（トリムマーク）	裁断位置を定義する実線です。

索引

数字

1-up 無線とじ 12

2-up 面付け 5

B

Booklet Maker ウィザード 5, 7, 28

Booklet Maker へのアクセス 6

Booklet Maker 設定 5

F

Fiery プリントコントローラー、接続 6

く

クリープ

ページ数が多い場合に設定 7

指定 22

指定する 28, 29

設定 7

補正 17, 22

さ

サドルステッチ 9

サブセット 7, 10, 29

し

シート 5, 10

シートサイズ 13

す

スプール済みジョブ 27

せ

センター

ページを配置 17, 18

と

とじオプション 7

とじしろ

指定 20

指定する 28, 29

とじしろの測定 20

とじしろを増幅 17

とじ位置 8

とじ方法 8

ふ

プリンタードライバー 6

へ

ページ内容のクリップ

回避する方法 17

ページ内容をずらす 17

ページ内容を配置 17

ら

ラスタープレビュー 27

り

リーダーレイアウト 5